

八幡工高新聞

発行者：滋賀県立
八幡工業高校新聞部

高体連・高文連結果 2
近畿・全国大会出場号

剣道部 団体戦 第3位 近畿高等学校剣道大会出場

- 1回戦 シード
- 2回戦 八工5(9) - 0(0) 東大津
- 準々決勝 八工5(9) - 0(1) 守山
- 準決勝 八工2(2) - 2(2) 草津東

※括弧は本数

個人戦 第2位 八田羚くん(3-1) 近畿高等学校剣道大会出場 全国高等学校総合体育大会出場

第3位 佐々木大翔くん(3-1) 近畿高等学校剣道大会出場

インターハイ予選の個人戦に初めて出場した八田くん。優勝を狙い頑張った。個人戦インターハイに出場できるのは上位2名。近畿大会出場は上位4名までだ。八田くんは2位でインターハイ出場権を獲得した。しかし悔いが残ると話す。「インターハイには出場できるが、決勝で対戦した人とは前回の大会でも対戦してその時は勝った。だから決勝では負けるわけにはいかなかったが負けて悔しかった」と。そんな八田くんの目標は近畿大会、インターハイともに優勝することだ。大会での健闘を祈りたい。第3位になった佐々木くんは、「今回が県大会最後でインターハイ出場を目標に頑張った」と大会を振り返る。しかし、惜しくも準決勝で敗退。悔いが残った。「近畿大会ではもちろん優勝を取る」と自信満々に話してくれた。その自信とともに大会での活躍を期待したい。

主将の八田くんは「代表戦まで行ったが、惜しくも負けた。悔しいのでその気持ちをばねに頑張りたい。」と話す。

また、副主将の佐々木くんは「このチームで戦うのは最後。本番まで残り少ないため、技術面よりも心理面(剣道も他スポーツ同様、気持ちに左右されるため整える時間が必要)を残り時間で作っていきたい」と大会に向けて語った。



↑近畿大会出場を果たした2人

機械工作部

高校生ものづくりコンテスト 機械系旋盤部門 滋賀県大会 優勝 鈴木麻斗くん(2-1) 近畿大会出場 第2位 和田 愛翔くん(2-2)

「練習通りに行えず、優勝は意外だった」と大会を振り返る鈴木くん。今回の大会では、決められた寸法を標準時間の2時間30分(最終は3時間まで、2時間30分を過ぎると10分ごとに減点されていく)以内に完成させるものだ。鈴木くんは、2時間29分で完成させることができたが、本番中にケガをしたり、練習時より作成に時間が掛かったりのアクシデントが発生。今回の結果は予想外だったが県大会で優勝を勝ち取り8月に大阪で行われる近畿大会への出場権を獲得。「県大会でミスした箇所を重点的に練習し本番に挑みたい」と意気込んだ。

目標は、近畿大会1位と県大会の2時間29分を上回ること。ちなみに大会と並行して技能検定旋盤2級にも挑戦中だ。さらなる活躍と挑戦に期待が高まりそうだ。

第2位だった和田くんは、練習よりも出来は良かったと振り返った。開始序盤で緊張のあまり寸法を誤ってしまった。標準時間を超えたが2時間45分で完成させた。結果に和田くんは、「獲れると思っていた」と自信満々に話す。さらに続けて「八工は滋賀県大

会で6連勝している。だから、そのような成績をもつ場所で経験を積んでいけば上位賞を獲れると予想した」と語った。

これから出場予定の大会はない和田くんだが技能検定2級取得に向けて頑張っている。合格に向けて頑張してほしい。



↑県大会で作成した作品と共に鈴木くん

若年者ものづくり競技大会旋盤職種 全国大会 出場 古賀巧真くん(3-1)

7月30日から群馬県で行われる。この大会は、高校生のみならず、20歳以下が出場できる。ぜひとも頑張してほしい。

ソフトテニス部

団体戦

- 1回戦 八工 vs 安曇川 勝負
- 2回戦 八工 vs 綾羽 勝負
- 順位決定戦 八工 vs 石山 勝負

新聞部

「キラリエ草津市民総合センター」に県内の新聞部が集まり、かつて宿場町として栄えた草津駅周辺の「街道交流館」と「立木神社」を取材。その内容を各校の部員とまとめ交流新聞を作成した。

新聞部は、8月1日から岐阜県で行われる全国高等学校総合文化祭に参加予定だ。

野球部

本校野球部は6日、マイネットスタジアム皇子山で一回戦を光泉カトリック高校と戦った。1～3回は相手に次々と打たれ、0-6に。しかしその後は各ポジションの選手の活躍により、失点を抑えた。すると6回裏、3塁の走者がホームベースに帰り1点を獲得。最終結果は1-6となり、残念ながら1回戦負けとなった。

レスリング部

全国高等学校総合体育大会
レスリング競技

中堀一輝(3-2) 出場

